資料2

新しい暮らし方の提案(暮らし方改革)

1年365日、1日24時間の使い方を変える

～自分らしい時間の使い方を見つめ直す～

【背景・課題】
人口減少・少子高齢社会の到来による持続可能な経済・地域社会の創造
・企業の人手不足、後継者不足　・地域社会などでの人材不足、担い手不足
・SNSネイティブで多様性・自分らしさを大事にするZ世代
・子どもの育つ環境の変化、地域での学びの場の減少
・年齢、性別、国籍等にとらわれない多様な人々が共生

【地域特性】
・大都市のベッドタウンとして、通勤時間の長時間化による自由時間の減少

【目的】
・これまでの暮らしを見つめ直し、多様性が最大限尊重され、豊かで充実した自分らしい暮らし方を一人ひとりがデザインできる社会をめざす。

【目指す姿】
・多様な働き方、休み方、暮らし方で、全ての人が充実した時間が過ごせるインクルーシブな社会
・一人ひとりが職場、地域でいきいきと活動できる社会
・充実した暮らしが叶う滋賀の実現

【暮らし方改革】
・一人ひとりが充実した時間を過ごせる仕組みづくり
・更なる社会貢献活動への参加促進

【休み方改革】
・祝休日に休みがとれない家庭で、子どもと一緒に充実した休暇が過ごせる仕組みづくり

【働き方改革】
・ワーク・ライフ・バランスの推進
・多様な休暇制度の導入
・休暇が取りやすい職場環境づくり

推進方策

新たな総合的な仕組みづくり

【暮らし方改革】
①県民等の意識改革
暮らし方、時間の使い方に対する価値観や過ごし方の社会変革
○暮らし方改革コミッション（仮称）の創設（新）
・県民、企業・経済団体、地域・市民団体等で時間の使い方を変える機運醸成
・新たな暮らし方の実現に向けた取組宣言、情報発信、仕組みの検討

②自由時間のコンテンツの提案
○国スポ・障スポの応援やボランティア体験、万博の訪問
○体験的な学び・遊びの場の提供
・しがのこどものなつやすみ体験
夏休みを中心に子どもが体験できる施設等の場・機会の提供
・地域との交流等の暮らし体験
地域ならではの仕事に従事しながら、滞在型観光、地域の人との交流等の暮らしを体験
・しがのふるさと応援隊
農山村地域に関わる機会を通じ、農山村の魅力を体感・発信
○大学等のリカレント教育の推進
○健康づくり活動の推進　など

NPOとの協働による情報の見える化(新)
体験の場・活動を一元的にマップに掲載。
エリアや日付、カテゴリーで検索できる仕組みの構築

【休み方改革】
新しい暮らしのきっかけづくり　仕組みづくり　検討
大人も子どもも充実した新しい暮らしのための仕組みづくりの検討
親子で休み、遊び・学び・体験できる仕組みの検討

【働き方改革】
DX推進による働き方改革の一層の推進　取組の深化　現在
自由時間の創出
暮らし･産業･行政の各分野のDXの一層の推進
生産効率の向上や、ワンストップ行政サービスの実現
→ワーク・ライフ・バランス推進や多様な休暇制度の導入、休暇が取りやすい職場環境づくり

しがのこどものなつやすみ 2025

イメージ

○　自分らしい時間の使い方を見つめなおす「暮らし方改革」の１つの取組として、子どもをターゲットとした学習・体験活動等を一元的に集約し、「しがのこどものなつやすみ」としてパッケージ化。子どもの自由時間の使い方の１つとして提案。

コンテンツ例

※今後、各部局に照会後、「しがのこどものなつやすみ」のコンテンツを空欄に記入予定

大阪・関西万博

○　（今後、事業内容等を記入予定）

国スポ・障スポ

○　（今後、事業内容等を記入予定）

文化・スポーツ体験

農山村の魅力体験

食の魅力体験・食育

健康づくり

歴史探訪・史跡めぐり

MLGs・環境を守る活動

地域づくり・社会貢献

びわ湖の魅力体験・再発見

大人の学び・学びなおし